



# 諏訪市都市計画マスタープランの改定と 諏訪市立地適正化計画の策定に向けた検討を行っているよ!



## 都市計画マスタープランの検討状況①

### <都市計画マスタープランとは>

誰もが快適で便利な生活をしていくことができるより良いまちをつかっていくために必要な、道路・公園・下水道といった身近な公共施設や、工業・商業・住宅等の土地の使い方や建物の建て方など**多くの事柄を総合的に定めた、都市づくりの指針となるものが「都市計画マスタープラン」**です。

諏訪市では、平成10年3月に「諏訪市都市計画マスタープラン」を策定し、諏訪市全体のまちづくりの考え方や、諏訪市を3つの地域（上諏訪地域、豊田・湖南地域、四賀・中洲地域）に分けて、地域ごとのまちづくりの考えも示し、まちづくりを進めてきました。

その後、策定から約20年が経過するなかで、全国的に少子高齢化や人口減少の進行、東日本大震災をはじめとする大規模災害の発生など、**市のまちづくりを取り巻く環境や社会・経済状況は大きく変化**しつつあります。諏訪市ではこれに対応していくため「**都市計画マスタープラン**」の見直しの検討を進めています。

### <都市計画マスタープランの体系>

都市づくりの理念

新たな時代に対応したコンパクトな諏訪市

地域の特性を活かした個性的で住みやすい諏訪市

誰もが安心して暮らし続けることのできる諏訪市

「輝くSUWA」を創生するための社会基盤が整った諏訪市

都市の将来像・イメージ

<将来像>

**自然の恵みと地域の活力が調和する  
やさしさとふれあいのまち 諏訪**

<目指すべきまちづくりのイメージ>

**コンパクトなまちに交流と活気がみなぎる 快適生活都市 諏訪**

都市づくりの目標

目標①

誰もが住みやすいまちの実現  
人口減少・高齢社会に対応した

目標②

将来にわたって住み続けられるまちの実現

目標③

地域資源を活力にかえることのできる魅力あるまちの実現

目標④

誰もが安心して住むことのできるまちの実現

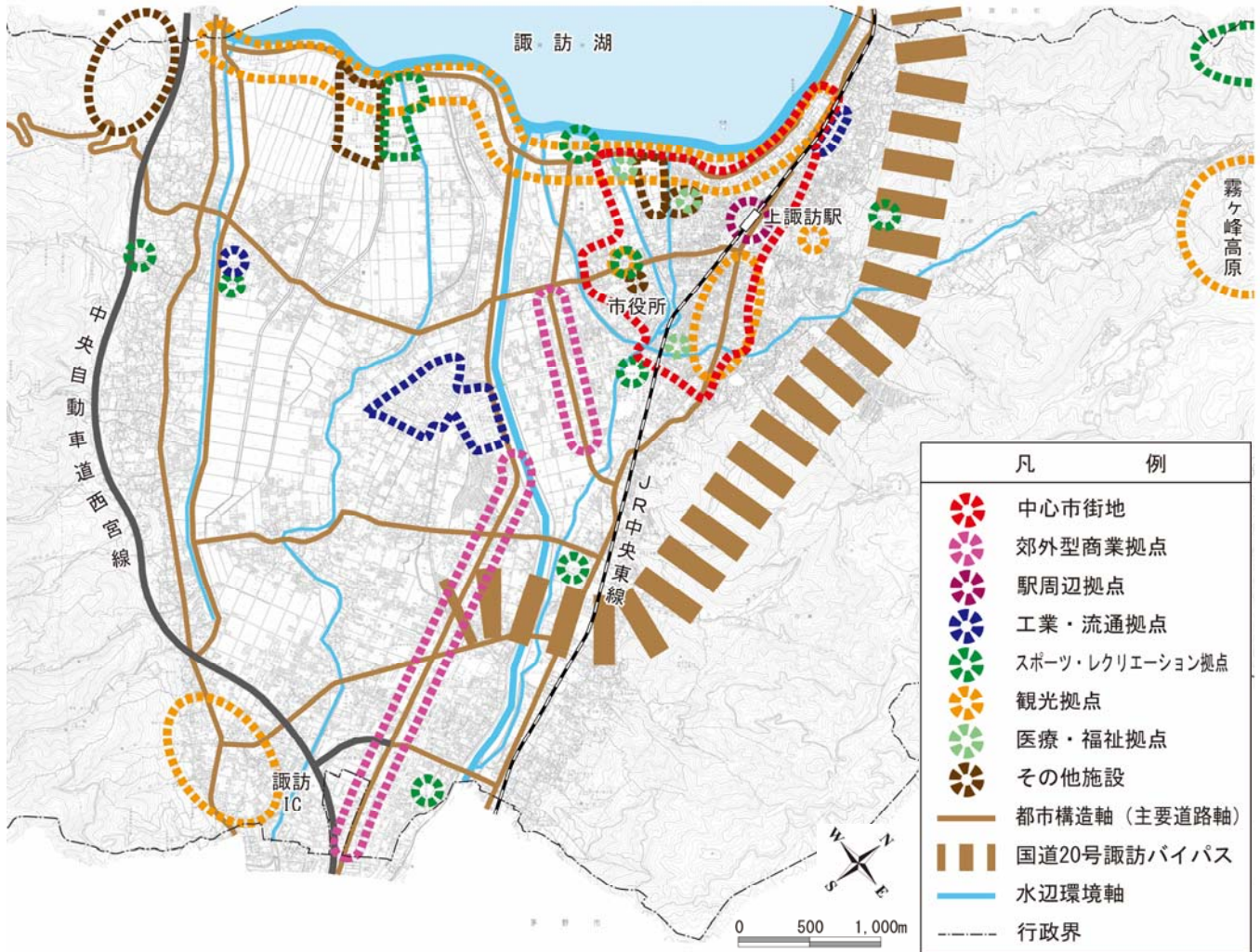
目標⑤

自然と共生するみどり豊かで快適なまちの実現

## 都市計画マスタープランの検討状況②

### <都市計画マスタープランにおける将来都市構造>

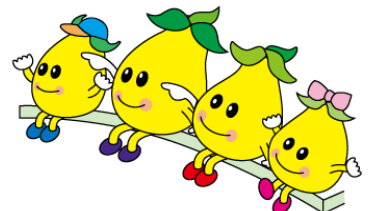
都市構造は、**面的な広がりを持つ「拠点」と带状の機能を現す「軸」**によって構成され、都市計画マスタープランにおける将来都市構造を下記の様に設定します。



### <具体的な整備目標>

項目	目標
土地利用	生活、生産、自然環境の調和した秩序のある明確な都市空間の形成
交通体系整備	豊かな生活と活力ある都市活動を支える交通体系の形成
公園・緑地整備	豊かな緑とふれあい共生する潤いのある都市空間の創出
下水道整備	清潔で快適な生活と誰もが遊びたくなる水環境の創出
低炭素都市実現	地球環境を守るための持続可能な低炭素都市の創出
都市景観整備	自然と歴史と現代が織りなす良好な諏訪景観の形成
防災都市づくり	災害を未然に防ぎ誰もが安心して暮らすことのできる都市の形成

この都市計画マスタープランに沿って、  
これからの諏訪市の都市づくりを進めていくんだね！



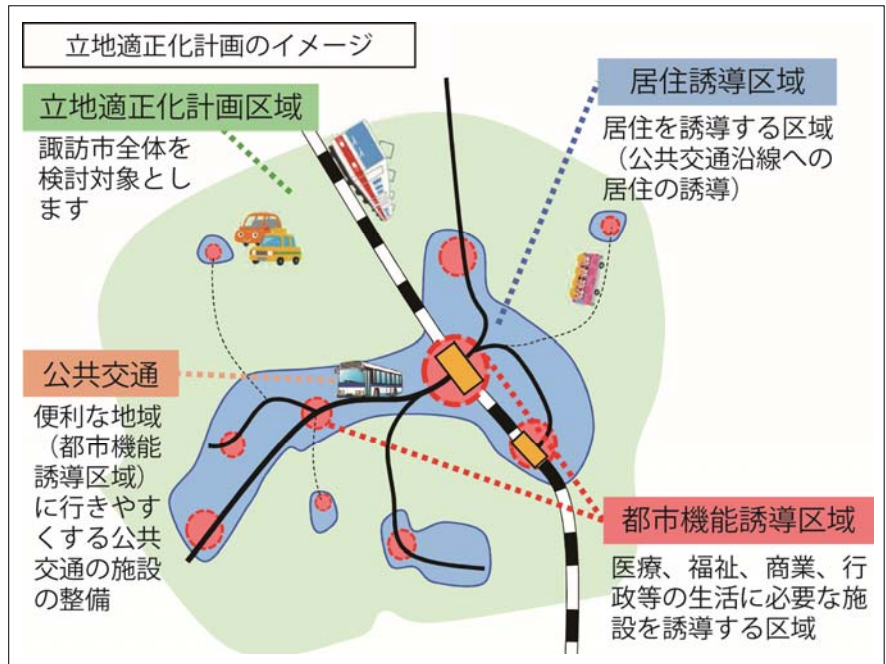
# 立地適正化計画の検討状況①

## ＜立地適正化計画とは＞

諏訪市では、これから人口が減り、高齢者が多くなっていきます。そのなかでも、誰もが暮らしやすいまちにしていくため、行政・市民・民間事業者が一体となって、コンパクトなまちづくりに取り組み、持続可能な地域社会を形成していくための「立地適正化計画」の策定を進めています。

また、立地適正化計画は都市計画マスタープランを補完する計画であり、まち全体を

みて、住宅や医療・福祉・商業・行政等の施設をより利用しやすい場所に誘導したり、公共交通をより使いやすくするための方法を記載した計画です。



## ＜まちづくりの方針と誘導方針＞

諏訪市立地適正化計画における基本理念は、諏訪市都市計画マスタープランにおける都市の将来像・目指すべきまちづくりのイメージを踏襲します。また、まちづくりの方針と誘導方針を下記の通り定めます。

### 基本理念

**自然の恵みと地域の活力が調和する  
やさしさとふれあいのまち 諏訪**

～コンパクトなまちに交流と活気がみなぎる 快適生活都市 諏訪～

### まちづくりの方針

- ① 上諏訪駅周辺を主要拠点とした医療・福祉・産業・観光・商業の連携による魅力的な都市機能の集積と地域の伝統的な居住スタイルとの都市内交流の実現
- ② 居住・都市機能、生活サービス機能がバランスよく配置された子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすい都市の形成
- ③ 公共交通ネットワークによる利便性の確保

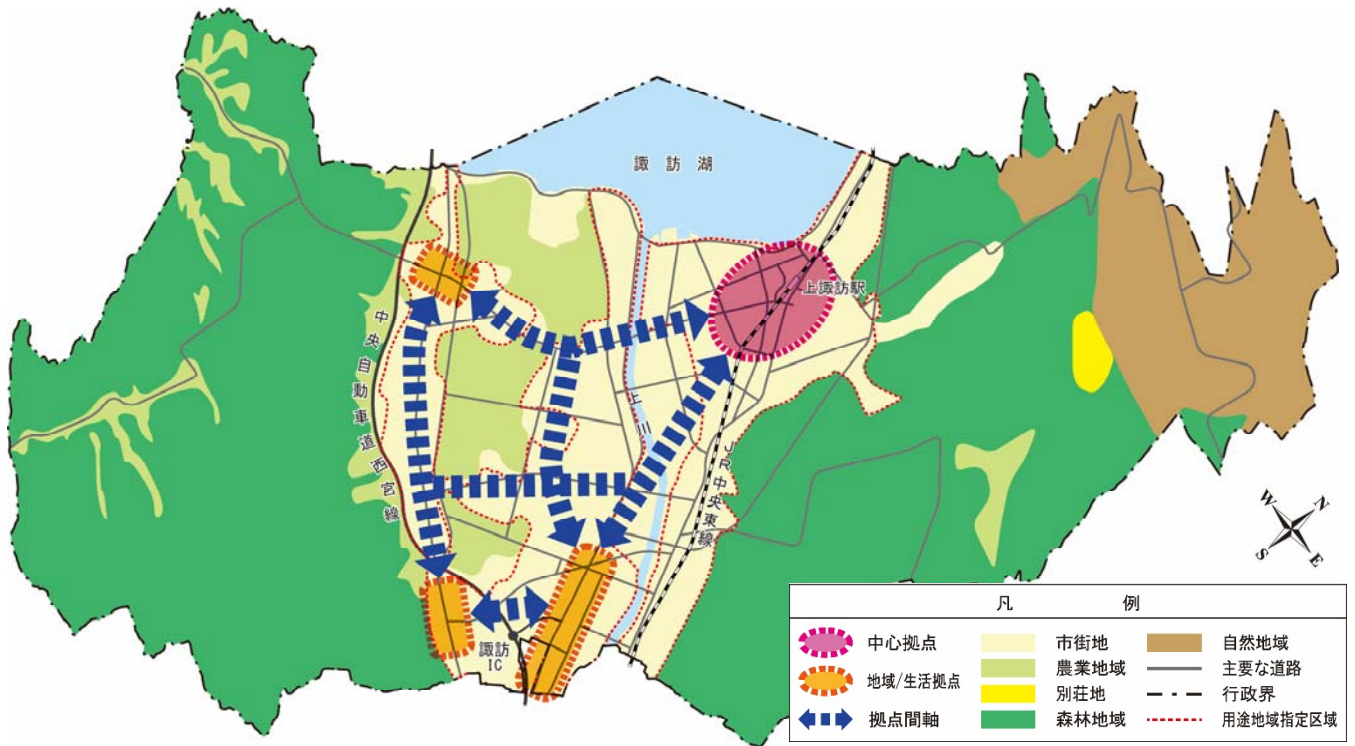
### 誘導方針

- ① 上諏訪駅周辺をはじめとする中心市街地の魅力の向上
- ② 誰もが暮らしやすい都市施設・日常サービス施設の適正配置
- ③ 公共交通の利便性の向上

## 立地適正化計画の検討状況②

### <目指すべき都市の骨格構造>

都市計画マスタープランの将来都市構造を基本に、上諏訪駅周辺を「中心拠点」、諏訪インターチェンジ周辺、豊田小学校周辺、諏訪大社上社周辺を「地域/生活拠点」に設定します。また、これらの拠点を結ぶ基幹的な公共交通軸を「拠点間軸」に設定します。



### <居住誘導区域と都市機能誘導区域>

用途地域のうち、人口密度が高い地域や公共交通便利地域など居住誘導区域に含むべき区域から、災害発生の危険がある区域などの除外すべき区域を除いた区域を基本に、居住誘導区域を設定します。

目指すべき都市の骨格構造における中心拠点及び地域/生活拠点に都市機能誘導区域を設定します。

掲載した内容は今後の検討状況により、変更になることがあるよ。

